

はじめの一步②

2013年7月29日(月) ~ 30日(火)

I N 西宮市立甲山キャンプ場

	午前	午後	夜
1日目	施設まで街中ハイキング	テント設営・野外炊飯	キャンプファイア
2日目	野外炊飯・川遊び	清掃・下山・解散	

一日目: 天候が心配される中、一泊二日のキャンプが始まりました。仁川駅に全員集まりいよいよ出発です。集まった皆さんは、初めてのキャンプで不安、どんなことをするのか楽しみ、など様々な表情でまわりをキョロキョロしておられました。甲山キャンプ場までのハイキング途中に雨が降り出しましたが、友達やリーダーに励まされ、全員キャンプ場まで歩ききりました。グループで譲り合いながら屋根の下でお弁当を食べ、自己紹介や名札作りをしました。名札作りを終える頃には、みんなの思いが届いたのか雨が止み「広いキャンプ場で遊びたい！」とウズウズしていたみんなは、笑顔で走り回っていました。ゲーム大会では、晩御飯で作るカレーのスペシャル食材を賭けて、グループ対抗戦を行いました。どこのグループもやる気満々で、ジャンケンの掛け声にも気合が表れています。同じゲームを何度かやるなかで、自分たちだけの作戦をたて臨んでいました。走り回った後は、ハイキングのときからいろいろとイメージを膨らませていた、テント建てです。建てている最中は「狭そう」という声が聞かれましたが、中に入ってみると見た目以上に広く居心地が良かったようで、早速みんなで寝転んでいました。カレーづくりは、屋ごろまでの雨の影響でなかなか火が着かず、完成までにとっても時間がかかりました。そんな中、黙々と枝を拾いかまど係に届けたら、「いつでも交代するで！」と声を掛け、自分にできることを考え実行する姿が多く見られました。苦勞して作ったカレーをおかわりしながら、わいわい楽しく食べました。雨での活動やカレー作りで少し疲れが見られましたが、楽しみにしていたキャンプファイアが始まると、大きな声を出し体いっぱい楽しんでいました。一日目最後のプログラムである水浴びでは、友達と水を掛け合いながら今日一日の汗を流しました。



二日目: ぐっすり眠ることができたのか、朝からみんな元気いっぱい！テキパキ準備を進め、集合時間まで鬼ごっこを始めるグループもありました。朝食は、牛乳パックを使いホットドックを作ります。説明を真剣に聞き、焦げないように注意しながら焼いていきます。たくさんおかわりをし、満腹になったところで、次は待ちに待った川遊びです。「川遊びがはやくやりたい！」という一心で、片付けや着替えを驚くほどの速さで終え、集合しました。友達やリーダーと水を掛け合ったり、葉っぱを流して遊んだり、「お風呂～」と言って川に座りおしゃべりをしたり、グループの枠を越え思い思いの川遊びを楽しんでいました。その後、テントを片付け、二日間過ごしたキャンプ場を掃除し出発しました。最後までキャンプ場の自然を楽しむ姿が印象的でした。途中昼食を食べ、歩いて仁川駅へ帰りました。昨日とは打って変わって日差しが強く暑かったのですが、しんどくて泣きそうな友達の背中を押し、車やバイクが来たことを大声で伝えるみんなの姿はとても頼もしかったです。



<キャンプ総括>

今回のキャンプは、キャンプのタイトルにあるように「一步踏み出そう！」を大切に活動しました。初めてのお泊り、初めての火起こしなど挑戦ばかりの中で、できるようになった嬉しさ、うまくいかなかった悔しさ、様々な思いに気づくことができたのでは、と感じています。天候には恵まれませんでした。普段感じる機会が少ない、雲の速さ、雨音のリズム、屋内の安心感など自然の中にいるからこそ発見したことを、友達やリーダーと「不思議やなあ」と話す姿が印象的でした。またキャンプに対して多くのイメージを膨らませ、みんなが思い描くキャンプを実現するにどうすればいいのだろうと考え、行動する場面もありました。どんな時でもキャンプを楽しもうという思いが、雨をふっ飛ばしプログラムを全て楽しむことができたのだと思います。これからも、挑戦した勇気とその時の思いを大切にしてほしいです。(生本 ひろみ)